

(仮称) 鎌倉市こども計画 (第3期鎌倉市子ども・子育て きらきらプラン) の策定に向けた調査 ご協力をお願い

皆さまには日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、鎌倉市では、「子どもが健やかに育つまち 子育ての喜びが実感できるまち 子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」を基本理念とした「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン(令和2年度～6年度)」を策定し、こども・子育てに関する施策や事業を推進しています。しかしながら、こどもまんなか社会を実現するためには、これまで以上に子育て施策を充実させていく必要があることから、次期計画を策定するにあたって、この調査を実施することで、市民の皆様の子育てに対する実態やご意見、ご要望などを伺い、計画に反映させようとするものです。

今回の調査では、令和5年11月1日現在の住民基本台帳から就学前のお子さんを無作為に抽出し、保護者の皆さまにご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や県・国のこども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

なお、調査票の発送、回収等業務につきましては、鎌倉市から株式会社名豊に委託し実施しております。

こどもまんなか社会を実現するためにも調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

鎌倉市長 松尾 崇

【ご記入にあたってのお願い】

調査票は、お子さんの保護者の方が記入してください。

(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません)

インターネットでの回答もできます。二次元バーコードを読み取るか下のアドレスからお答えください。アンケート用紙の返信は不要です。

URL : <https://questant.jp/q/33BU1DXZ>



ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、

2月9日(金)までにご投函ください。

【ご記入いただきました情報等の取り扱いについて】

1. 送付に使用したあて名情報及びご記入いただきました調査票は、鎌倉市及び株式会社名豊が取り扱い、十分な情報管理体制のもとで、情報漏えいや紛失がないよう適切に取り扱います。
2. ご回答につきましては、本調査の分析のために統計的に処理し、事業の目的以外に使用することはございません。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

鎌倉市こどもみらい部こども支援課 中橋・富田

電話 : 0467-61-3891 ファクス : 0467-23-8700 (代表)

E-Mail : mirai@city.kamakura.kanagawa.jp

この調査は、こどもまんなかな社会の実現を目指す鎌倉市にとって、今後の子育て支援施策を検討するうえで重要な調査となります。ご回答をよろしくお願いいたします。

ご回答に当たってお読みください

鎌倉市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、令和2年3月に第2期の子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施しています。

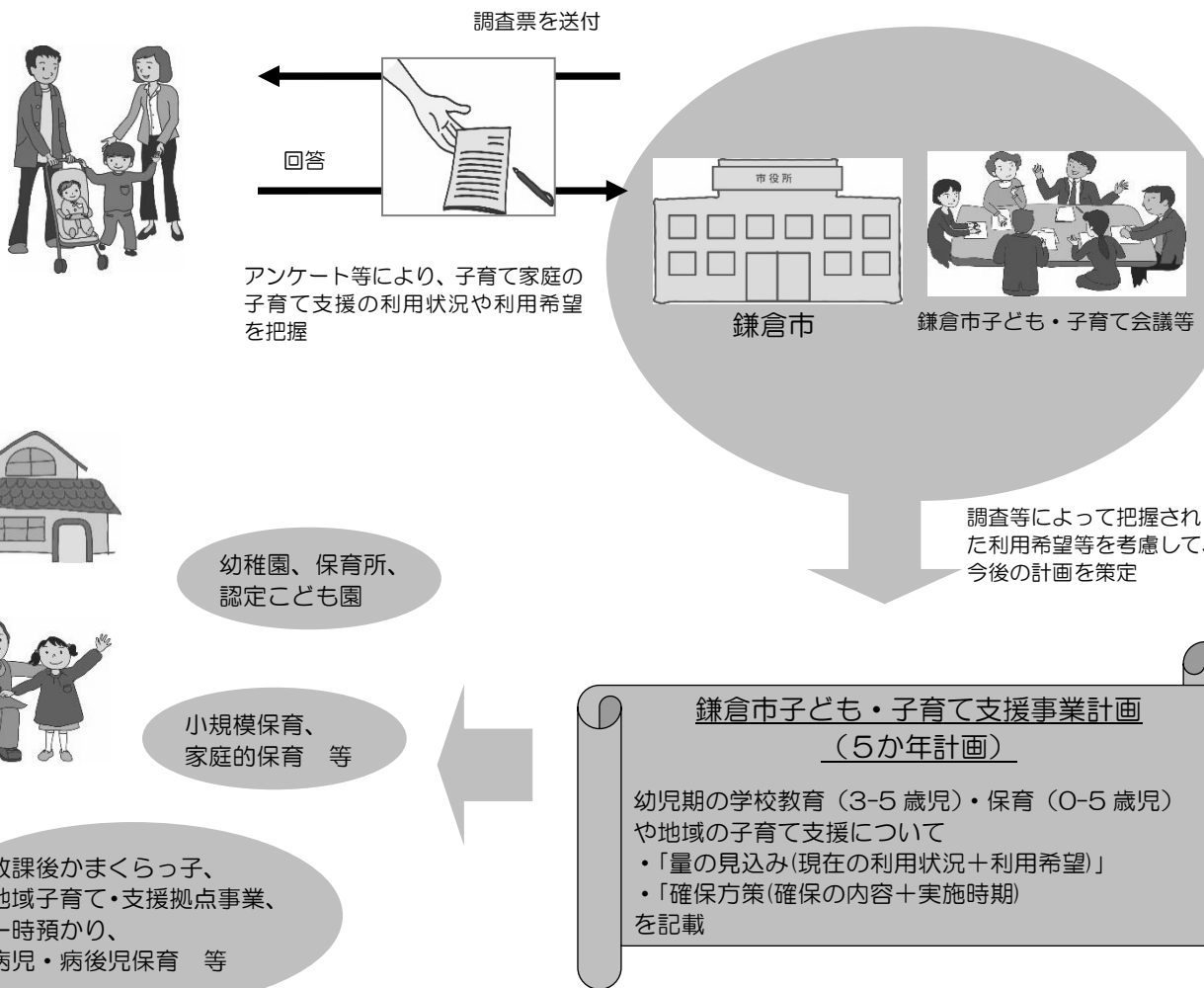
本調査は、令和7年度からの次期計画に向けて、計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を鎌倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここでご回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、こどもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- こどもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながらこどもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てやこどもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいたご回答は鎌倉市の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・ 子 育 て：教育・保育その他のこどもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育：問17までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問18以降においては幼児期の学校における教育(幼稚園・認定こども園)の意味で用いています

ご家族の状況について

問1 お住まいの地域をお知らせください。(あてはまる番号1つに○)

1. 鎌倉(十二所、二階堂、西御門、雪ノ下、扇ガ谷、小町、大町、材木座、由比ガ浜、御成町、笹目町、佐助、長谷、坂ノ下、極楽寺、稲村ガ崎、浄明寺)
2. 腰越(腰越、津、西鎌倉、七里ガ浜東、津西、七里ガ浜)
3. 深沢(梶原、寺分、山崎、上町屋、手広、常盤、鎌倉山、笛田)
4. 大船(山ノ内、台(一丁目を除く)、小袋谷、大船、岩瀬、今泉、今泉台、高野)
5. 玉縄(台一丁目、岡本、玉縄、植木、城廻、関谷)

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(宛名のお子さんを含めた人数と生年月を記入してください。また、3人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番大きいお子さんと一番小さいお子さんの生年月を記入してください。なお、お子さんが一人の場合は、一番大きいお子さんの生年月の欄に記入してください。元号は1つに○ 数字は一枠に一字)

きょうだい数 人

一番大きいお子さん 平成 令和 年 月生まれ

一番小さいお子さん 平成 令和 年 月生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父親
2. 母親
3. その他()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父親・母親ともに
2. 主に父親
3. 主に母親
4. 主に祖父母
5. その他()

保護者の就労状況について

問6 保護者（宛名のお子さん）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（①父親【母子家庭の場合は記入は不要】、②母親【父子家庭の場合は記入は不要】それぞれ、あてはまる番号1つに○）

※父親や母親以外の場合、男性の場合は父親として、女性の場合は母親としてお答えください。

① 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

② 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問6-1 問6で1～4（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（それぞれ、□内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

①父親

1 週当たり 日
1 日当たり 時間

※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時29分⇒7時

②母親

1 週当たり 日
1 日当たり 時間

※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時29分⇒7時

問6-2 問6で1～4（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（それぞれ、□内に数字で記入[数字は一枠に一字]）

①父親

家を出る時刻 □ □ 時

帰宅時刻 □ □ 時

※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時30分⇒8時

②母親

家を出る時刻 □ □ 時

帰宅時刻 □ □ 時

※30分未満切り捨て、30分以上切り上げ 例：7時30分⇒8時

問6-3 問6で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問7へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

①父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

②母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問6-4 問6で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問7へお進みください。就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字を記入[数字は一枠に一字]）

①父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下のこどもが □ □ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）→1週当たり □ 日

1日当たり □ □ 時間

②母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下のこどもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）→1週当たり 日
1日当たり 時間

問7 世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。（あてはまる番号1つに○）

※年間収入：可処分所得（いわゆる手取金額）、収入から支払いを義務づけられている税金や社会保険料などを差し引いた金額のことです。

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～150万円未満 |
| 4. 150～200万円未満 | 5. 200～250万円未満 | 6. 250～300万円未満 |
| 7. 300～350万円未満 | 8. 350～400万円未満 | 9. 400～450万円未満 |
| 10. 450～500万円未満 | 11. 500～600万円未満 | 12. 600～700万円未満 |
| 13. 700～800万円未満 | 14. 800～900万円未満 | 15. 900～1000万円未満 |
| 16. 1000万円以上 | | |

問8 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

問9 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった |
| 3. まれにあった | 4. まったくなかった |

問10 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 電気料金 | 2. ガス料金 | 3. 水道料金 | 4. ない |
|---------|---------|---------|-------|

子育て環境について

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境をお知らせください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 |
| 4. 保育所 | 5. 認定こども園 | |
| 6. その他（ | | ） |

問12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

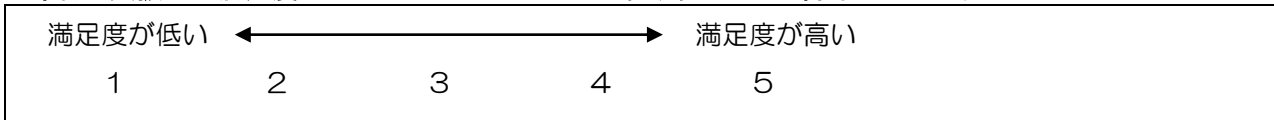
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的にこどもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際にはこどもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問13 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政 など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問14 子育て支援サービスや幼稚園・保育所の利用方法、各種手当の申請方法など、子育てに関する情報を誰から、あるいはどこで入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設(子育て支援センター、放課後かまくらっ子等)・NPO |
| 5. 保健師(市・県保健所) | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市役所(子育て関連の各担当窓口) |
| 11. こども相談窓口きらきら(市役所第6分庁舎) | 12. インターネット・SNS
() |
| 13. その他() | 14. どこで入手すればよいかわからない |

問15 お住まいの地域(冒頭お答えいただいた鎌倉、腰越、深沢、大船、玉縄の5地域)における子育ての環境や支援への満足度についてお知らせください。(あてはまる番号1つに○)



問16 子育てをするにあたって、地域に求めることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子育ての相談や情報交換をしたい
2. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
3. 遊びの相手やスポーツを一緒にしてほしい
4. こども会やお祭りなど、こどもの参加できる活動や行事が増えてほしい
5. 緊急時にこどもを預かってほしい
6. 地域でこどもを見守り育てるといった気持ちを持ってほしい
7. とともに子育てできるグループやサークルなどを一緒にやってみたい
8. 子育て仲間や友人が地域にいること
9. その他()
10. 特に求めることはない

問17 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。

子育ての悩みや相談について

問18 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問18-1 問18で「1. いる」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族 | |
| 2. 友人や知人 | |
| 3. 近所の人 | |
| 4. 子育て支援施設(子育て支援センター、放課後かまくらっ子等)・NPO | |
| 5. 保健師(市・県保健所) | |
| 6. 保育士 | |
| 7. 幼稚園教諭 | |
| 8. 民生委員・児童委員 | |
| 9. かかりつけの医師 | |
| 10. 市役所(子育て関連担当窓口) | |
| 11. インターネット・SNS (|) |
| 12. その他 (|) |

問19 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児のことがよくわからないこと
4. こどもとの接し方に自信がもてないこと
5. こどもと過ごす時間が十分とれないこと
6. こどもの教育に関すること
7. こどもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
8. こどもの登所・登園拒否、不登校などの課題
9. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力がいないこと
10. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
12. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間がとれないこと
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子育てのストレス等から、こどもに手をあげたり、叱りすぎたり、世話をしなかったりしてしまうこと
16. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
17. 子育てに係る出費がかさむこと
18. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと
19. その他（ ）

問20 子育てにおいて孤立感を感じますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない
5. わからない

問21 子育てに関する相談で充実してほしいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身近な場での窓口
2. 専門的な情報
3. 職員の対応スキル
4. 関係機関等へのつながり
5. 安心して相談できる環境（こどもの預かり、プライバシーの配慮等）
6. 1か所で相談できる（ワンストップ）窓口
7. その他（ ）

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 22 宛名のお子さんは現在、平日（月曜日～金曜日）に幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 利用している

2. 利用していない

問 22-1 問 22 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日（月曜日～金曜日）どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で 5 人以下のこどもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、市が認証・認定した施設。鎌倉市にはありません。）
9. その他の認可外保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民がこどもを預かる事業）
12. 障害児通所支援施設（児童発達支援センター・児童発達支援事業所・発達に支援が必要なこどもの療育を行う事業）
13. 青空自主保育（園舎を持たず、鎌倉の自然の中で遊び、子ども親も育ち合う活動）
14. その他（）

問 22-2 平日（月曜日～金曜日）に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（問 22-1 で複数選択をした方は、その合計を記載してください）

（1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字で記入[数字は一枠に一字、時間は、必ず(例) 0 9 時～1 8 時のように 2 4 時間制で記入]）

① 現在

1 週当たり 日

1 日当たり 時間

② 希望

1 週当たり 日

1 日当たり 時間

問 22-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 鎌倉市内

2. 他の市区町村

問 22-4 問 22 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. (こどもの教育や発達のため、こどもの父親か母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. こどもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. こどもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

問 23 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日(月曜日～金曜日)の教育・保育事業として、「定期的」に利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で県の認可を受けた定員 20 人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で 5 人以下のこどもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、市が認証・認定した施設。鎌倉市にはありません。)
9. その他の認可外保育施設
10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民がこどもを預かる事業)
12. 障害児通所支援施設(児童発達支援センター・児童発達支援事業所・発達に支援が必要なこどもの療育を行う事業)
13. 青空自主保育(園舎を持たず、鎌倉の自然の中で遊び、子ども親も育ち合う活動)
14. その他()

問 23-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。(あてはまる番号どちらかに○)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 鎌倉市内 | 2. 他の市区町村 |
|---------|-----------|

土曜・休日や長期休暇中の定期的な 教育・保育事業の利用希望について

問 24 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）（それぞれにつき、あてはまる番号1つに○）

希望がある場合は、利用したい時間帯をお知らせください（（例）09時～18時のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]）

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1）土曜日

- | | | |
|---|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
|---|-----|-----------------------------|

（2）日曜・祝日

- | | | |
|---|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
|---|-----|-----------------------------|

問 25 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお知らせください。（（例）09時～18時のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]）なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | |
|---|-----|-----------------------------|
| 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯
□ □ 時から □ □ 時まで |
|---|-----|-----------------------------|

地域子育て支援事業の利用状況について

問 26 宛名のおさんは、現在、「子育て支援センター」や「つどいの広場」（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（あてはまる番号1つに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字で記入[数字は一枠に一字]）

- | |
|--|
| 1. 利用している
1週当たり □ 回 もしくは 1ヶ月当たり □ 回程度 |
| 2. 利用していない |

問 27 問 23 のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号 1 つに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入[数字は一桁に一字])

1. 利用していないが、今後利用したい
 1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1 週当たり 更に 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない

問 28 下記の事業で A. 知っているものや、B. これまでに利用したことがあるもの、C. 今後、利用したいと思うものをお答えください。(A~Cのそれぞれについて、①~⑫の事業ごとに、「はい」「いいえ」のどちらかに○)

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後、利用したい
①両親教室 (妊娠中から子育て教室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②育児教室(まんま♡る〜ぶ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 乳幼児健康相談 (抱っこ de シャベル、保健師・助産師・栄養士への相談等)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育センター相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥こどもと家庭の相談室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦市発行の子育て支援情報誌 (かまくら子育てナビきらきら)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧かまくらこども相談窓口きらきら (かまくら子育てメディアスポット)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨かまくら子育てメディアスポット ホームページ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩かまくら冒険遊び場・梶原ノ一日冒険遊び場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪かまくらママ&パパ's カレッジ 特別企画「親子で楽しむ♪あそびの大学」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫子育てサロン (二階堂子育てサロン・Fly2 Kids・つくしっ子・子育てひろばくぼっけ>・深沢キッズネット・子ぶくろ家・のびのび子育て・未来へはばたけ「ぐんぐん」、西鎌倉ぼっけ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等について

問 31 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も□内に数字で記入[数字は一枠に一字])

1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的にこどもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民がこどもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で一時的にこどもを養育・保護する事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他 ()	□ □ 日
7. 利用していない	

問 31-1 問 31 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 地域の事業の質に不安がある 4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない 5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない 9. その他 ()	
---	--

問 32 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号どちらか1つに○) 利用したい方は、利用目的をお答えください。(あてはまる記号すべてに○をつけ、1年間の必要な日数を、目的それぞれにつき、□内に数字で記入[数字は一枠に一字]) なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □ □ 泊
ア. 私用(買物、こども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	□ □ 泊
イ. 冠婚葬祭、学校行事、こども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	□ □ 泊
ウ. 不定期の就労	□ □ 泊
エ. その他 ()	□ □ 泊
2. 利用する必要はない	

問 33 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。[数字は一枠に一字]

1. 利用したい	計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
ア. 冠婚葬祭	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. 保護者や家族の病気	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない	

放課後の過ごし方について

問 34 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入。また、「放課後かまくらっ子」（※1）を選択した場合には、利用を希望する時間も口内に数字で記入。時間は、必ず(例) 1 8 時 のように 2 4 時間制で記入[数字は一枠に一字]

(1) 夏季（4～9月）

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい				
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい				
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい				
4. 放課後かまくらっ子を利用	週 <input type="text"/> 日くらい				
	下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで				
	<table style="display: inline-table; border: none;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="padding: 0 5px;">1.アフタースクール</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="padding: 0 5px;">2.学童保育</td> </tr> </table> を利用	}	1.アフタースクール	}	2.学童保育
}	1.アフタースクール				
}	2.学童保育				
5. ファミリー・サポート・センターを利用	週 <input type="text"/> 日くらい				
6. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい				

(2) 冬季 (10~3月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッ カークラブ、学習塾 など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポー ト・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他 (公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

問 35 宛名のお子さんについて、小学校高学年 (4~6年生) になったら、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字で記入。また、「放課後かまくらっ子」を選択した場合には利用を希望する時間も口内に数字で記入。時間は、必ず(例) 18時 のように24時間制で記入 [数字は一枠に一字])

(1) 夏季 (4~9月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッ カークラブ、学習塾 など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポー ト・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他 (公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

(2) 冬季 (10~3月)

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
2. 祖父母宅や 友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッ カークラブ、学習塾 など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後かまくらっ子 を利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 分まで { 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
5. ファミリー・サポー ト・センターを利用	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
6. その他 (公民館、公 園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	

問 36 問 34 または問 35 で「4. 放課後かまくらっ子」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日や夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間に、放課後かまくらっ子の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。(1)(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制で記入[数字は一枠に一字]

(1) 土曜日 (アフタースクールは、お休みです。)

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	1. 毎週	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	2. 月 <input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
3. 利用する必要はない	学童保育を利用	

(2) 夏休みの長期の休暇期間

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	週 <input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	{ 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい		から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 まで	
3. 利用する必要はない			

(3) 冬休み・春休みの長期の休暇期間

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	週 <input type="text"/> 日くらい	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	{ 1.アフタースクール 2.学童保育 } を利用
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい		から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 まで	
3. 利用する必要はない			

問 37 放課後の居場所について課題だと思うことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 活動する部屋が狭いなど、施設環境が十分整っているとは思えない 2. 運動できる場所が限定されていて、思いきり活動することができない 3. 体験活動の実施回数が少ない 4. 体験活動が多く、こどもが自由に過ごせない 5. こどもが望むような体験活動が少ない 6. 高学年のこどもが、参加しやすい(参加したくなる)活動が少ない 7. 運営スタッフの目が十分に行き届いていない 8. 運営スタッフとこどもへの対応の仕方や子育てについての考え方が合わない 9. 開設時間が短い 10. 経済的負担(保険料・利用料など)がかかり過ぎる 11. その他 ()

問 38 こどもが放課後の時間を過ごすにあたり、必要だと思うものは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 大人の見守りによる安全・安心な居場所 | 2. 学びのきっかけとなる体験活動 |
| 3. 自由遊び | 4. 宿題の支援 |
| 5. 異学年や多くの児童との交流 | 6. 地域との交流 |
| 7. 学力を高めるための学習支援 | 8. 運動系の習い事 |
| 9. 文化系の習い事 | 10. 将来の職業の参考になる体験活動 |

こども誰でも通園制度について

問 39 こども誰でも通園制度を知っていますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|----------------|---------------------|---------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前は知っているが内容は知らない | 3. 知らない |
|----------------|---------------------|---------|

問 40 0～2歳の未就園児の親で在宅保育をしているまたは予定している方にお聞きします。こども誰でも通園制度を利用したいですか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|-------------|----------------|------------|
| 1. とても利用したい | 2. できれば利用してみたい | 3. 利用したくない |
|-------------|----------------|------------|

問 40-1 問 40 で 1～2 と答えた方にお聞きします。利用したい・してみたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 夫婦共働きのため | 2. 育児疲れの軽減 |
| 3. 自分の自由時間を作るため | 4. 趣味の時間を増やすため |
| 5. 妊娠・出産のため | 6. ご自身の病気のため |
| 7. 求職活動のため | 8. パパ友・ママ友作りのため |
| 9. ご自身またはパートナーの就学のため | 10. 同居家族・親族の介護や看護のため |
| 11. その他() | |

ヤングケアラーについて

問 41 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|----------------|----------------|---------|
| 1. 言葉も内容も知っている | 2. 言葉は聞いたことがある | 3. 知らない |
|----------------|----------------|---------|

問 42 ヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 本人に様子を聞く | 2. 家族、知人、友人に相談する |
| 3. 保育所や幼稚園に相談する | 4. 関係機関に相談する |
| 5. 何もしない | 6. わからない |
| 7. その他() | |

職場の両立支援制度について

問 43 宛名のお子さんの保護者の主な勤務先についてうかがいます。(父親、母親それぞれの主な勤務先につき、あてはまる番号 1 つに○)

①父親

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 鎌倉市内 | 2. 鎌倉市外 | 3. 就労していない |
|---------|---------|------------|

②母親

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 鎌倉市内 | 2. 鎌倉市外 | 3. 就労していない |
|---------|---------|------------|

問 44 宛名のお子さんが生まれた時、父親・母親のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○) また、取得していない方はその理由をご記入ください。

①父親

1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない

取得していない理由

(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

②母親

1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない

取得していない理由

(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問 44-1 こどもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、こどもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（あてはまる番号 1 つに○）

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 44-2 問 44 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ、あてはまる番号 1 つに○）

- ① 父親
- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 - 2. 現在も育児休業中である
 - 3. 育児休業中に離職した

- ② 母親
- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 - 2. 現在も育児休業中である
 - 3. 育児休業中に離職した

問 44-3 問 44-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ、どちらか 1 つに○）※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

- ① 父親
- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
 - 2. それ以外だった

- ② 母親
- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
 - 2. それ以外だった

問 44-4 育児休業からは、「実際」に宛名のお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、希望どおりでなかった場合は、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取りたかったですか。（それぞれ、口内に数字で記入[数字は一桁に一字]）

- ① 父親
- 実際 歳 か月
- 希望 歳 か月

- ② 母親
- 実際 歳 か月
- 希望 歳 か月

問 44-5 お勤め先の育児休業の制度が3年未満の方にうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては宛名のお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(それぞれ、□内に数字で記入[数字は一桁に一字])

①父親

□ 歳 □ □ か月

②母親

□ 歳 □ □ か月

問 44-6 問 44-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

①父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

②母親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

問 44-7 (2) 「希望」より遅く復帰した方(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

①父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他 ()

② 母親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてる人がいなかったため
6. その他 ()

問 44-8 問 44-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

①父親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

②母親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問 44-9 問 44-8 で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(それぞれ、あてはまる理由すべてに○)

①父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

②母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

問 44-10 問 44-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ、どちらか1つに○)

①父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

②母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

問 45 産後にどのような支援を受けたかった、受けていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 宿泊しながらお母さんの身体と心の休息が出来るサービス
2. 宿泊しながら赤ちゃんの授乳や沐浴など育児のアドバイス
3. 宿泊しながらお父さんへ育児のアドバイス
4. ご自宅に伺って授乳や沐浴など育児のアドバイス
5. ご自宅に伺ってお父さんへ育児のアドバイス
6. 日帰りでの授乳や沐浴など育児のアドバイス
7. 日帰りでのお父さんへ育児のアドバイス
8. その他 ()

こどもの権利について

問 46 あなたは、子育てをされていて、こどもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 常にしている | 2. ときどきしている |
| 3. あまりしていない | 4. まったくしたことがない |

問 47 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 名前も内容も知っている | 2. 名前は知っているが内容は知らなかった |
| 3. 知らなかった | |

問 48 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。(あてはまる番号に3つまで○)

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 自分の考えを自由に言えること
3. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
4. 自分の秘密が守られること
5. 必要な情報を手に入れられること
6. 暴力や言葉で傷つけられないこと
7. 障がいのあるこどもが差別されないこと
8. けがをした時や病気の際に治療を受けられること
9. 親や家族と一緒に安心して生活できること
10. 教育を受けたり、休んだり、遊んだりできる自由な時間をもつこと
11. もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できること
12. 住む場所や食べ物があること

子育てに関する政策について

問 49 あなたは、鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）が充実していると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

上記回答に理由があれば簡単にご記入ください。

問 50 子育て支援でもっと力をいれてほしいものは何ですか。(あてはまる番号5つまでに○)

1. 子育てに関する相談・情報提供の充実
2. 保護者同士が交流できる場の充実
3. 家事や子育て等で男女がともに協力し助け合うことなどの啓発
4. 子育ての意義・大切さなどの普及・啓発
5. 保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実
6. 妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実
7. 小児救急医療体制の充実
8. 児童虐待防止対策の推進
9. 待機児童対策の推進
10. 一時預かり保育、延長保育、病児保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
11. ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実
12. 子育てボランティアなど地域で子育てを支える活動の推進
13. 学童期のこどもの放課後対策の充実
14. 地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会の充実
15. こどもの「生きる力」を育むための活動の推進
16. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
17. 仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発
18. 道路や施設などのバリアフリー化の推進
19. こどもを事故や犯罪の被害から守るための対策の推進
20. 自然の中で遊べる機会の充実
21. 世帯の収入に関係なく、留学したいと望むこどもが留学できる制度の創設
22. その他 ()
23. 特になし

問 51 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。